

### 平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価

#### 1 めざす学校像

<p>地域が誇る、規律と活気ある学校をめざす。</p> <p>1 生徒が元気！ 伸び伸びと活気あふれる生徒たち 「賢さ、優しさ、強さ」を兼ね備え、夢と志をもって常にチャレンジする「たくましい交高生」を育てる。</p> <p>2 教職員が元気！ 情熱をもって生徒に向かう教職員集団 教職員自らが問題・課題発掘をして、主体的に解決を図ることができる、生徒の模範となる自立した教職員集団の高校になる。</p>
---

#### 2 中期的目標

<p>1 確かな学力の育成</p> <p>(1) 教科指導を充実させ、学力を向上させる。 ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざして授業改善に取り組み、生徒を鍛え伸ばす授業を展開する。 イ 学習に向かう意識を向上させ、家庭学習時間を増加させる。 授業アンケート満足度 78% (H30) 80% (2021)</p> <p>(2) 進路指導を充実させ、チャレンジ精神をもって進学・就職に取り組んでいく姿勢を育成する。 ア 3年間を見通した進路指導計画を確立し、学力生活実態調査等を活用して、時機を捉えた進路指導に努める。 イ 進路選択に対する意欲を喚起するために、様々な機会を設定し、その内容の充実を図る。 一般入試受験者数 130名程度を維持(2021) 希望する進路達成率 75%以上を維持(2021)</p> <p>(3) 文・理ともにコースの教育内容の一層の充実を図る。 ア 「英語専門コース」では、英語でのコミュニケーション能力を一層向上させ、実践的で総合的な英語力を身に付けさせる。 イ 「理数専門コース」では、基礎・基本の学習及び観察・実験等を通して、科学的な思考に基づいて問題解決にあたる力を身に付けさせる。 ウ 「学芸コース」では、興味・関心や進路に応じた様々な選択科目を設定し、個々の進路実現を図る。 英語検定準2級合格率 40%以上を維持(2021) 理系の進路達成率 70%以上を維持(2021)</p> <p>2 豊かな人間性の涵養</p> <p>(1) 特別活動や部活動、地域と連携した活動等を通して、自主性、協調性、自己有用感を育む。 ア 学校行事や生徒会活動、部活動等において主体的な取り組みを引き出し、集団の中で人と調和しながら活動できる能力を育成する。 部活動や行事に対する満足度 80%以上を維持(2021)</p> <p>(2) 基本的な生活習慣を定着させるとともに、規範意識を醸成する。 ア 厳しく温かみのある生徒指導により、基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成に努める。 遅刻者数毎年 10名/日 未満を維持</p> <p>(3) キャリア教育、人権教育を総合的にを行い、夢と志をもって学校生活を送る生徒を育てる。 LHRの活用、およびキャリア教育を活用して社会に出た時に通用する人材育成</p> <p>3 生徒支援の充実</p> <p>(1) 校内の教育相談体制を充実させ、支援の必要な生徒、課題を抱える生徒を適切に支援する。 ア 教職員間の速やかな情報共有・連携した対応を確実なものとする。 イ 生徒支援委員会、教育相談室等の機能を高め、不登校の防止・対応に努める。</p> <p>(2) キャリア教育の推進(進学の先を見据えた将来職業アドバイスの充実) ア 進学に留まらない進路指導機会の創出 ～ 社会人講話・社会を仮想体験できる読書習慣などを通して生徒自身の職業適性を発見させる～ イ (総合学習) 探究(総合探究)を活用したキャリア教育の強化 学校評価アンケート「進路決定している」時系列の増加</p> <p>4 学校力の向上</p> <p>(1) 教職員の力量の向上 ア OJTを通じた教職員の育成を通して、互いの力量を高め合うとともに、教員の同僚性を育む。 イ 実践的な教職員研修を行い、授業力、生徒指導力、教育相談力等の向上を図る。 生徒アンケート 全項目数値向上</p> <p>(2) 働き方改革 ア 業務の統合や効率化を図り、教材研究の時間及び生徒と向き合う時間の確保に努める。 イ 課題に応じた委員会を立ち上げ、教職員全員参加の自立行動により、学校組織体制の見直し・運営などの改善を図る。 ストレスチェック職場評価改善</p> <p>(3) 広報活動の充実 ア 学年メルマガ、HP、学校説明会等により、保護者、中学生等に対して学校情報を積極的に伝える。 学校説明会満足度 95%以上を維持(2021)</p>
---

#### 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 31 年 12 月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>生徒結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に行くのが楽しい。(肯定的回答 H30 76.4% R1 80.6%) 4.2 ポイント上昇。全体として学校行事、学級活動、部活動などを楽しんでいる生徒が増えたことは、学校の教育活動全体が生徒のニーズに合っていると思われる。</li> <li>・教材や教え方に ICT を含めて、様々な工夫をしている先生が多い。 (肯定的回答 H30 81.4% R1 87.0%) 5.6 ポイント上昇。プロジェクターを活用し、授業を展開する教員の増加やペアワーク、グループ学習など、学習形態を工夫している教員が増加している。また、授業力向上の研修を実施しており、今後もより効率的で効果的な授業を実践できるよう取り組みたい。</li> <li>・授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。 (肯定的回答 H30 50.6% R1 55.8%) 5.2 ポイント上昇。アクティブラーニングの主体的・対話的で深い学びを求め、授業力向上の研修を実施しているが、基礎的、基本的な知識及び技能を確実に定着させることとのバランスが今後の課題と考えている。より高度なレベルでの授業実践に取り組みたい。</li> <li>・学校生活についての先生の指導は納得できる。 (肯定的回答 H30 55.2% R1 53.2%) 2 ポイント減少しているが、「校則はほぼ適切だと思う」に肯定的な回</li> </ul>	<p>第 1 回 (令和元年 6 月 22 日開催)</p> <p>学校経営計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性を養うために地域と連携することが書かれているので、地域のイベント等に積極的に参加していくべきである。</li> <li>・英語コース、理数コースの取組みは、よくわかるが学芸コースの特色がわかりにくいので、もっとアピールしてもよいのではないかと。</li> <li>・様々な学校行事を通して生徒に多くの経験値を積ませることができるようになれば良い。</li> <li>・タブレット等を活用した授業の創意工夫に期待。</li> <li>・学習支援クラウドサービスの更なる活用を期待。</li> <li>・</li> </ul> <p>「学校経営計画」の「めざす学校像」「中期的目標」を&lt;承認&gt;</p> <p>第 2 回 (令和元年 11 月 22 日開催)</p> <p>「交野高校に期待すること」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高の連携をすすめて、気楽に交野高校に行くことができる環境や中学校に卒業生の交野高校生がゲストティーチャーとして来校するなどあれば良い。</li> <li>・授業での取組みは大変良かった。交野高校生の授業を受ける様子を大学の関係者に見学してもらえれば環境があればいいのではないかと。また、地域にむけて参観をしてみようか。</li> <li>・学習支援クラウドサービスの活用は、今の子どもたちには適切な学習方法と思</li> </ul>

<p>答している生徒が約 60.7% (R1) であり、方向性は変えずに丁寧な説明や指導を行いながら、社会の変化やニーズに対応していく必要がある。</p> <p><b>保護者結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。 (肯定的回答 H30 79.1% R1 81.5%)</li> <li>2.4 ポイント上昇。教育活動を通して行っている進路や職業などについて適切な指導が肯定的に受け止められている。ポイントの上昇は微増であるが 80% 前後あることから、学校の教育活動と保護者のニーズが合致していると思われる。</li> <li>学校の生徒指導の方針に共感できる。 (肯定的回答 H30 78.5% R1 78.5%)</li> </ul> <p>生徒の校則や先生の指導に対する納得感は 60% 程度であるが、保護者からは、78.5% の肯定的回答を得ていることから、今後も方向性は変えずに丁寧な説明や指導を行っていききたい。</p> <p><b>教員結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。 (肯定的回答 H30 75.0% R1 93.8%)</li> <li>18.8 ポイント上昇。授業改善、生徒指導、学級経営、部活動など次年度へ向けて評価を生かす意識が向上していると思われるため、今後も継続して取り組みたい。</li> <li>教育活動情報を生徒、保護者、地域に発信している。 (肯定的回答 H30 76.4% R1 88.6%)</li> <li>12.2 ポイント上昇。保護者の受け止めも新たに学習支援クラウドサービスを導入している第 2 学年では 19.7 ポイント上昇の 89.3% となっており、今後とも情報発信に努めていきたい。</li> </ul>	<p>う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>礼儀なども挨拶もしっかりできている。良い伝統を継承してほしい。</li> <li>交野市出身の子どもたちが入学したくなる学校になってほしい。</li> </ul> <p>第 3 回 (令和元年 1 月 28 日開催) 令和元年度学校評価 (案) について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 年間を振り返って行事や教育活動はよくやっていると思われる。</li> <li>学校教育自己診断の結果と分析は、向上している項目が多く、生徒の実態と取組みが合ってきていると思われる。</li> </ul> <p>令和 2 年度学校経営計画 「めざす学校像」と「中期的目標」を承認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習支援クラウドサービスの活用は、うまく使えば大きな効果が生まれると思われるので、今後も積極的に利用するべき。</li> <li>授業見学をして、プロジェクターを利用している教員が多く、わかりやすく感じた。今後も、より一層の利用が必要。</li> <li>オーストラリアのホームステイは、とても良い経験になるので多くの生徒に経験の機会を与えることができれば良い。</li> </ul>
---	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成	(1) 教科指導の充実による学力の向上 ア「主体的・対話的で深い学び」の実現	(1) ア・ICT の効果的な活用やアクティブラーニングの視点からの実践を通して、教科で協働的に授業改善を図る。 ・パッケージ研修を活用し、全体での研修の充実を図るとともに、公開授業週間を設け、相互に授業見学することにより授業力の向上をめざす。	(1) ア・パッケージ研修の実施  ・各教員が公開授業と 2 回以上の授業見学を実施し助言作成 ・授業満足度 80% (H30 78%)	(1) ア・パッケージ研修による研究授業の実施 (11 月、1 月) ( ) ・2 回以上の授業見学 (1, 2 学期に実施) と助言作成 ( ) ・授業アンケート「授業に興味・関心を持つことができた」知識や技能が身についた。」における肯定的な評価は 80% ( ) イ・学習の雰囲気に関する肯定的評価は 82% ( )
	イ 学習に向かう意識の向上	イ・自習室、図書室の活用等を通して、学校全体に学習する雰囲気を生み出し、家庭学習の定着につなげる。	イ・学習の雰囲気に対する肯定的評価 80% 以上を維持	イ・学習の雰囲気に関する肯定的評価は 82% ( )
	(2) 進路指導の充実 ア 3 年間を見通した進路指導計画	(2) ア・3 年間を見通した進路指導計画に基づき、学力生活実態調査等を活用して、時機を捉えた進路指導を行う。 ・1・2 年生は長期休暇中に実力養成講習を、3 年生は早朝、放課後、長期休暇中等に進路講習を実施する。	(2) ア・一般入試受験 130 名 (H30 101 名) ・希望進路達成率 75% (H30 77%) ・開講講座数 34 (H30 34 講座)	(2) ア・一般入試受験者 (133 名) ( ) ・希望進路達成率 (93%) ( ) ・開講講座数 48 ( )
	イ 進路選択に対する意欲の喚起	イ・卒業生講演、外部模試、就職ガイダンス等によって、自己の進路実現に向けて取り組む姿勢を養う。 ・各種検定の受験、各種コンテストへの参加を推進する。	イ・生徒の満足度 80% ・受験者、参加者の状況	イ・生徒の満足度 83% ( )
	(3) 各コースの充実 ア 英語専門コース	(3) ・各コースにおいて進路決定につながる取組みを行う。 ア・オーストラリア・ホームステイプログラムを実施する。 ・関西外大と連携し、英語 one day キャンプを実施する。 ・英語検定の合格者数の増加をめざす。  ・2 年でスピーチコンテストを実施する。	(3) 「将来の進路決定に専門コースが役立っている。」63% (H30 58%) ア・生徒の満足度 95% (H30 100%) ・生徒の満足度 95% (H30 100%) ・英検合格 3 級 73% (H30 59%) 準 2 級 40% (H30 32%) 2 級 5 名 (H30 7 名) ・生徒の満足度 90% (H30 87%)	(3) 「将来の進路決定に専門コースが役立っている。」68% ( ) ア・オーストラリア・ホームステイプログラム 100% ( ) ・Oneday キャンプ 100% ( ) ・英検 (3 級 84%、準 2 級 45%、2 級 15 名) ( ) ・スピーチコンテストの満足度 (89%) ( )
イ 理数専門コース	イ・摂南大と連携し、大学での実験・実習を実施する。 ・生徒を参加させて、サイエンス教室を実施する。 ・理系進学実績の向上をめざす。	イ・生徒の満足度 90% (H30 89%) ・生徒の満足度 90% (H30 100%) ・理系の進路達成 70% (H30 67%)	イ・摂南大学との連携 94% ( ) ・サイエンス教室 100% ( ) ・理系進学の実績 59% ( )	
ウ 学芸コース	ウ・ビブリオバトル (1 年生全員、2 年以降は学芸中心)	ウ・生徒満足度 80% (H30 83%)	ウ・ビブリオバトル 91% ( )	

## 府立交野高等学校

<p>2 豊かな人間性の涵養</p>	<p>(1) 特別活動や部活動等を通じた、自主性、協調性の育成</p> <p>(2) 基本的な生活習慣と規範意識の醸成</p> <p>(3) 夢と志をもった交高生の育成</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒に企画等に積極的にかわらせることにより、行事や生徒会活動等における主体的な取組みを引き出す。</li> <li>体験入学の実施をはじめ、指導の充実や活動PRにより、部活動の活性化を図る。</li> <li>地域と連携した活動の充実を図る。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員が毎朝校門で生徒を迎え、挨拶・服装・遅刻指導を実施する。また、丁寧な頭髪指導等を行い、落ち着いた学習環境の維持に努める。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年間を見通した人権教育、キャリア教育等を総合的にを行い、生徒の夢と志を育む。</li> </ul>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行事に対する満足度 85% (H30 79%)</li> <li>部活動加入率 70%以上 (H30 75%)</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻者数 現状を維持 (H30 4.7人/日)</li> <li>服装・頭髪違反者ゼロを維持</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担任団の独創性も含めたLHRのあり方見直し。</li> </ul>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行事の満足度 83% ( )</li> <li>部活動加入率 73% ( )</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻者数 5.2人/日 ( )</li> <li>服装頭髪違反者 0名 ( )</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「志学」として位置づけ、総合的に行った。( )</li> </ul>
<p>3 生徒支援の充実</p>	<p>(1) 教育相談体制の充実による適切な支援</p> <p>(2) キャリア教育の推進（進学の見据えた将来職業アドバイスの充実）</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援が必要な生徒に対して、学年主任、担任、養護教諭を中心として教職員が連携し、速やかに対応する。</li> <li>生徒支援委員会によって情報を共有し、個々の生徒に対する適切な支援方法を学校全体で組織的に考えていく。</li> <li>スクールカウンセラーを十分に活用し、生徒が相談しやすい良好な関係づくりを模索するとともに、教育相談力の向上に努める。</li> </ul> <p>(2) 進学に留まらない進路相談機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会人講話・社会を仮想体験できる読書習慣などを通して生徒自身の職業適性を発見させる。</li> <li>（総合学習）探究（総合探究）を活用し、3年間を見通したキャリア教育の充実に努める。</li> </ul>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「いじめなど生徒が困っていることがあれば、真剣に対応してくれる。」70% (H30 69%)</li> <li>「生徒一人ひとりにきめ細かい指導を行っている。」75% (H30 73%)</li> <li>教員の「SCの活用状況」肯定的評価80%以上を維持 (H30 89.3%)</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「将来の進路や生き方について考える機会がある」肯定的評価85% (H30 87%)</li> <li>「自分の将来、進路を決定」肯定的評価の増加 (30年度：1年57%, 2年71%, 3年85%) 2年70%以上 3年90%以上</li> </ul>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「いじめなど生徒が困っていることがあれば、真剣に対応してくれる。」75% ( )</li> <li>「生徒一人ひとりにきめ細かい指導を行っている。」79% ( )</li> <li>生徒支援委員会 8回実施 (12月時点)</li> <li>SC活用状況 相談状況 延べ数(教員35名、生徒10名、保護者3名) (12月時点) 80% ( )</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「将来の進路や生き方について考える機会がある。」92% ( )</li> <li>「自分の将来進路は決定」2年68.5%、3年84.4% ( )</li> </ul>
<p>4 学校力の向上</p>	<p>(1) 教職員の力量の向上</p> <p>(2) 働き方改革</p> <p>(3) 広報活動の充実</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業、部活、HR、日常業務等について、経験年数の少ない教員を中心としたOJT勉強会を実施する。</li> <li>教職員研修や研修報告会、模試結果活用会議等を行い、生徒指導力、教育相談力、進路指導力等の向上を図る。</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>業務の統合や効率化を図り、教材研究の時間および生徒と向き合う時間の確保に努める。</li> <li>課題に応じた委員会を立ち上げ、教職員全員参加の自立行動により、学校組織体制の見直し・運営などの改善を図る。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ、学年メルマガ等により、学校の情報を保護者や地域に積極的に発信する。</li> <li>学校説明会、中学校訪問の充実を図る。</li> </ul>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>OJT勉強会 10回(H30 11回)</li> <li>教職員研修 5回(H30 7回) (回数の維持と質の向上)</li> <li>自己評価「日常的な話し合い」肯定的回答80% (H30 89%)</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ストレスチェックの職場評価 仕事負担低下と職場支援アップによる総合リスク改善 (H30 124)</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>HP更新150回以上 (H30 176回)</li> <li>メルマガ等発信50回 (H30 90回)</li> <li>学校説明会満足度85% (H30 99%)</li> </ul>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>OJT勉強会 9回 ( )</li> <li>教職員研修 6回 ( )</li> <li>「日常的な話し合い」84% ( )</li> </ul> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合リスク 121 ( )</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>HP更新35回新着情報発信 ブログ更新23回 ( )</li> <li>メルマガ 運用せず ( )</li> <li>学校説明会満足度 99.5% ( )</li> </ul>